

三浦半島沿岸域から採集されたカンザシウミウシ (軟体動物門, 腹足綱, 異鰓上目)

倉持 卓司・倉持 敦子

Takashi Kuramochi & Atsuko Kuramochi: The First Record of
Limacia ornata (Baba, 1937) (Mollusca; Gastropoda; Heterobranchia)
from the Coastal Zone of the Miura Peninsula, Central Japan

はじめに

カンザシウミウシ *Limacia ornata* (Baba, 1937) は、体表に球状突起をもつ特異な形態をしたフジタウミウシ科の1種である。筆者らは、これまでに記録のなかった相模湾の三浦半島沿岸域から本種を採集したので、新たな分布記録として報告すると共に、Baba (1937) の記載に記述のなかった本種の歯舌形態および骨針の特徴について記載する。

検討資料

Family Polyceridae Alder & Hancock, 1845 カンザシウミウシ科

Genus *Limacia* Müller, 1781 カンザシウミウシ属
Limacia ornata (Baba, 1937) カンザシウミウシ

標本番号: HSM-MGH-42 (HSM-MGH 葉山しおさい博物館所蔵軟体動物異鰓上目標本番号)

1 個体 体長 2.5 mm (99 % エタノール固定標本)

産地 神奈川県三浦郡葉山町一色小磯 (35° 15' 36" N, 139° 34' 32" E) (潮間帯) 採集年月日 2012 年 5 月 8 日 採集者 倉持卓司

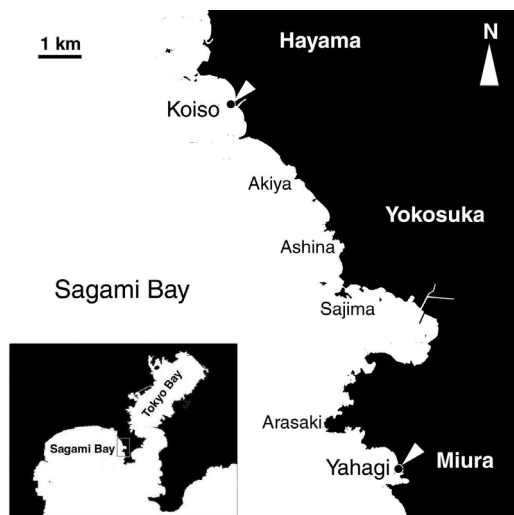


図 1. 資料採集地点 採集地 (●).

標本番号: HSM-MGH-43

1 個体 体長 6.2 mm (99 % エタノール固定標本)

産地 神奈川県三浦市初声町矢作海岸 (35° 11' 8" N, 139° 37' 2" E) (潮間帯) 採集年月日 2016 年 5 月 23 日 採集者 倉持敦子

記 載

体は楕円形で固い。体色は半透明白色で、背面全体に橙色の細かい斑点を散らす。体の周縁には球状突起が並ぶ。突起の柄部は短い。頭部前縁の球状突起は 5 つで、中央の 1 つは小さく、両端の 2 つは、ほぼ等しい大きさになる。体側面から後端側面にかけては、大きさの異なる 10 個の球状突起に覆われる。背面には体側部よりも小さな球状突起がほぼ規則的に並ぶ。球状突起の先端部は濃橙色になる。

触角は太く、先端が濃い橙色に染まる。触角鞘を欠く。鰓は 3 葉で後方に向かって開く。触角の先端部は分岐しない。口触手は 1 対で体地色と同じ半透明白色。腹面は半透明白色。尾部は短い (図 2, a)。

体表は骨針に富む。骨針の形状は 2 型に分けられる。大型 (0.03–0.04 mm) の骨針は、中央部が弱く曲がった「へ」字型で、表面は平滑 (図 2, d)。小型 (0.01–0.015 mm) の骨針は、中央部付近に鋭い突起があり十字型になる (図 2, c)。

歯舌は幅 0.03 mm。側歯は 10–13 本あり鱗状。内側歯は 2 本で、先端は鉤状になる。中歯を欠く。歯式は 77 × 10-11.1.1.0.1.1.10-13 (図 2, b)。

分 布

これまでにカンザシウミウシの採集標本にもとづく三浦半島沿岸域からの報告例はみられなかった (馬場, 1949; 馬場, 1955; 萩原, 2006. など)。また、カンザシウミウシは、千葉県鴨川市磯村沖生島、館山湾、静岡県伊東市富戸、沼津市大瀬崎、東京都小笠原父島、和歌山県西牟婁郡白浜町瀬戸、沖縄県阿嘉島から記録されている (Baba, 1937; 濱谷, 2000; 小野, 2004; 中野,

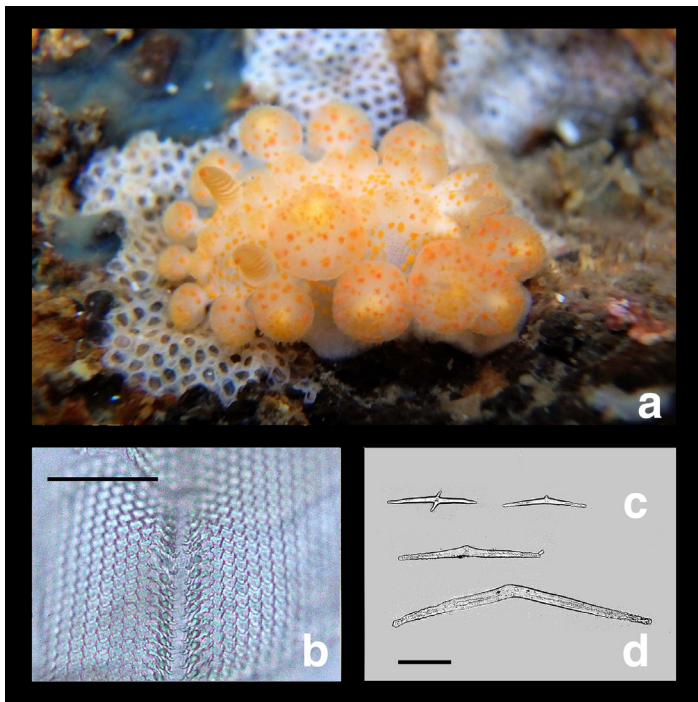


図 2. カンザシウミウシ *Limacia ornata* (Baba, 1937). a. 生体 (体長 6.2 mm) 神奈川県三浦市初声町矢作海岸 (潮間帯) 2016 年 5 月 23 日撮影 倉持卓司. b. 歯舌. c, d. 骨針 (スケールバー: 0.01 mm).

2004, 立川, 2007; 佐々木, ほか 2015)。本報告は, 本種の分布の北限記録となる。

比 較

カンザシウミウシ属は, これまでに大西洋沿岸域から *Limacia clavigera* (Müller, 1776), *L. lucida* (Stimpson, 1854), *L. annulata* Vallès, Valdés & Ortea, 2000, *L. iberica* Caballer, Almón & J. Pérez, 2016 の 4 種, 太平洋沿岸域から *L. cockerelli* (MacFarland, 1905), *L. janssi* (Bertsch & Ferreira, 1974), カンザシウミウシの 3 種が記録されている (Caballer *et al.*, 2016)。

コスタリカをタイプ産地として記載された *L. janssi* (Bertsch & Ferreira, 1974) は, カンザシウミウシに類似した外部形態をもつが, 濃い橙色の体色に, 先端部が赤色をした半透明の球状突起をもつことで区別される (Bertsch & Ferreira, 1974)。また, カリフォルニア州モンテレー湾をタイプ産地として記載された *L. cockerelli* (MacFarland, 1905) は, 体色は白く, 周縁部と背面に, 先端部が橙色の柄の長い棒状突起を密生させ, 5 葉の鰓をもつことで他種と区別される (MacFarland, 1905)。

Baba (1937) は, 1925 年 3 月に千葉県館山市で採集した 1 個体の標本と, 1937 年 4 月に和歌山県西牟婁郡白浜町瀬戸で採集した 2 個体の標本をもとに本種を *Euphurus ornatus* Baba, 1937 の学名で新種として記載している。Baba (1937) の記載には, 本種は触角鞘をもつと記述されているが, 筆者らが採集した標本に触角鞘は確認されなかった。また, Baba (1937) には体表の骨針や歯舌についての記述はみられない。

Coleman (2001) により, *L. ornata* として図示されたオーストラリアの個体は, 日本周辺海域から報告されているカンザシウミウシに比べ, 体部が細長く, 触角が濃い赤色で, 球状突起の先端部がいずれも赤色の個体である。また, Caballer *et al.*, (2016) は, オーストラリア沿岸域から採集されたカンザシウミウシとされる標本の歯舌の歯式を 8-9.1.1.0.1.1.8-9 と報告しているが, この歯式は, 筆者らが相模湾から採集した個体に比べ側歯の数が少ないことで異なる。これらの外部形態および歯式の違いから, オーストラリア沿岸域より記録されている種は, 日本周辺海域から記録されているカンザシウミウシとは異なる種である可能性が示唆される。

引用文献

- Baba, K., 1937. Opisthobranchia of Japan (II). *Journal of the Department of Agriculture, Kyushu Imperial University*, 5(7): 289–344.
- 馬場菊太郎, 1949. 相模湾産後鰓類図譜. 194 pp. 岩波書店, 東京.
- 馬場菊太郎, 1955. 相模湾産後鰓類図譜 補遺. 59 pp. 岩波書店, 東京.
- Bertsch, H. & A. J. Ferreira, 1974. Four new species of Nudibranchs from Tropical West America. *The Veliger*, 16: 343–353.
- Caballer, G. M., P. B. Almón & D. J. Pérez, 2016. The sea slug genus *Limacia* Müller, 1781 (Mollusca: Gastropoda: Heterobranchia) in Europe. *Cahiers de Biologie Marine*, 57: 35–42.
- Coleman, N., 2001. 1001 Nudibranchs: Catalogue of Indo-Pacific Sea Slugs. 144pp. Neville Coleman's Underwater Geographic Pty Ltd., Australia.
- 濱谷 巖, 2000. フジタウミウシ科. 奥谷喬司編著, 日本近海産貝類図鑑. p.759. 東海大学出版会, 東京.
- 萩原清司, 2006. 横須賀市天神島・笠島周辺海域の後鰓類(軟体動物: 腹足綱). 横須賀市自然・人文博物館研究報告(自然), (53): 19–32.
- MacFarland, F. M., 1905. A preliminary account of the Dorididae of Monterey Bay, California. *Proceedings of the Biological Society of Washington*, 18: 35–54.
- 中野理枝, 2004. 本州のウミウシ 北海道から奄美大島まで. 304 pp. ラトルズ, 東京.
- 小野篤司, 2004. 沖縄のウミウシ 沖縄本島から八重山諸島まで. 304pp. ラトルズ, 東京.
- 佐々木哲朗・立川浩之・向 哲嗣・栗原達郎, 2015. 小笠原諸島兄島および父島の軟体動物相の現況. 小笠原研究, (41): 41–73.
- 立川浩之, 2007. 海の生き物観察ノート 5 に掲載された千葉県産後鰓類に関する補遺. 千葉立中央博物館自然誌研究報告, 9(2): 63–71.
- Vallès, Y., A. Valdés & J. Ortea, 2000. On the phanerobranch dorids of Angola (Mollusca, Nudibranchia): a crossroads of temperate and tropical species. *Zoosystema*, 22(1): 15–31.

倉持卓司・倉持敦子：神奈川県横須賀市